

## 施策評価調書

施策名	3-3-1	実効性のある防災体制の強化 地域経営計画(後期計画) 該当ページ P. 45	施策を取り巻く環境変化	拠点避難所に分散備蓄を行い、平成21年度から地域住民を交えて災害対応訓練実施し、平成22年度に2回目を実施することで、地域において自主防災組織を立ち上げようとの機運が高まってきております。事務的整理をして、全町に自主防災組織を組織することにより、地域の防災力の充実強化が図れます。
担当部課	総務企画部 地域安全課	担当 リーダー	危機管理 担当 戸井田 和 明	

### 1. 住民意識調査結果

21年度(10月実施)		25年度(※実施予定)		26年度(※実施予定)	
満足度	9.9% 第10位/全36項目(防災体制の強化)	満足度	第 位/全 施策	満足度	第 位/全 施策
優先度	64.5% 第14位/全36項目(防災体制の強化)	優先度	第 位/全 施策	優先度	第 位/全 施策

満足度:「満足である」、「どちらかと言えば満足である」を合計した割合から、「どちらかと言えば不満である」、「不満である」を合計した割合を差し引いたもの

優先度:「優先すべき」、「やや優先すべき」を合計した割合から、「あまり優先しなくてよい」、「優先しなくてよい」を合計した割合を差し引いたもの

### 2. 施策の目標

指標	基準値	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
指標1:年間火災発生件数:(件)	21年度実績 6件	計 画	0件	0件	0件	0件	0件
		実 績					
指標2:全町的防災訓練の年間実施回数:(回)	1回	計 画	2回	2回	2回	2回	2回
		実 績					
指標3:		計 画					
		実 績					
指標4:		計 画					
		実 績					
指標5:		計 画					
		実 績					
指標に関する特記事項							

進捗状況の区分 ↑:目標以上の成果があった →:目標どおりの成果があった ↓:目標に至らなかった △:遅延・未着手等 ×:見直し・廃止等

### 3. 施策に係る経費

事業費(傘下事務事業費計)の推移【単位:千円】 (※総事業費)	年 度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
		当 初	2,649			
	決 算					

### 4. 施策傘下事務事業 ※別紙のとおり

### 5. 施策評価

自己評価 (部)	後期計画における施策展開のビジョン	H23年度の狙い
	災害に強いまちづくりを進めていくためには、町及び防災関係機関のほか町民の主体的な取り組みと相互の連携を図っていくことが不可欠です。町が主体となり実施する災害対応訓練や地域での防災組織を通じて、「自助・共助・公助」の理念に基づき、それぞれの役割を明確にして防災意識の高揚を図ります。	災害が少ないといわれる栃木県の中で、さらに自然災害が少ないといわれる高根沢町ですが、大規模な災害が発生した場合に被害を最小限に食い止めるためには、住民による自主的な防災活動が不可欠です。地域ごとに住民が団結し、組織的に活動することによって最大限の効果を発揮する、「自主防災組織」を全行政区に立ち上げ充実強化します。
総合評価 (町長)	総合評価	
	前期計画期間中に行った防災訓練を踏まえて、さらに住民一人ひとりが防災意識の向上に繋がる施策展開を行っていくことを評価する。 ただし、比較的災害が少ない本町において、安心安全なまちづくりを進める上で、何が一番重要なのか、施設の整備も含めて、常に検証するとともに、普段から防災意識を高めるために、どういった取組みが効果が上がるのか、例えば防災拠点にある資機材については、災害時のみならず、その地域の行事などで使えるなどといった仕組みづくりをすることで、防災拠点として身近になるなど、まちづくり協働推進行動計画に基づく他課の施策の動向も注視しつつ、有機的な連携をするなど、どこに選択と集中を図るのか検討していくこと。	